



やあ! ya!

URL:<http://tia21.or.jp/>

E-mail:tia@tia21.or.jp



「日本の生活習慣講座」開講

▲講座参加者が福田知事と記念撮影?

TIA は、5月から毎週土曜日、8回にわたる「日本の生活習慣講座」を開始した。この講座は、在県外国人が職場や地域で少しでも多くの日本人と上手に付き合えるようお手伝いすることを目的として、毎回異なったテーマで日本の生活習慣や文化を紹介している。第一回目の「栃木県ってどんなところ?」では、県内の観光地や文化を紹介すると共に、県庁を見学した。5月は他に、「セレモニーのマナー」「図書館に行ってみよう」「暦から学ぶ日本の生活」をテーマに実施した。

後半の6月は、「お弁当をつくってみよう」、「日本の学校」、「日本人と仲良くするために」、「お茶とお花を体験しよう」をテーマにした4講座。楽しい見学や実習を取り入れ、外国人にはわかりづらい日本独特の習慣やマナーをわかりやすく解説していく予定だ。参加ご希望の外国人の方は、TIA (TEL028-616-1636/028-627-3399) までどうぞ。

2011年6月号

No.115

Summer

- ◆やあ! クローズアップ
- ◆国際交流団体紹介
- ◆とちぎに暮らして...
- ◆JICA 情報局

東日本大震災時の外国人への支援活動
カンボジアっこ支援の会
山口 信子さん(中国・ハルビン市出身)
青年海外協力隊平成22年度4次隊派遣

やあ！クローズアップ 東日本大震災時の外国人への支援活動

東日本大震災～TIAが行った外国人支援～

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、とちぎ国際交流センターも3階の文化体験室(和室)の壁やガラス障子が破損した。幸いセンター利用者及び職員に怪我はなかったが、その後1週間は、センターの被害状況の確認や余震の恐れのため、センターの一般利用を休止せざるを得なかった。

地震発生後、TIAではまず県内の市町国際交流協会と連携し、外国人の避難状況を確認したところ、真岡市、佐野市、那須塩原市、宇都宮市、日光市で外国人が避難していた。特に真岡市では、多いときで約100名の外国人が避難所に入所していた。

避難所における外国人支援は各市町国際交流協会が対応してくださっていたので(真岡市の支援内容は下記参照)、TIAは、3月12日～31日を外国人への集中支援期間と位置づけ、「TIA携帯情報サービス」とホームページを活用し、震災に関する内容に絞った情報を5か国語(日本語、ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語)で配信し、また毎日4か国語(上記外国語)の相談スタッフを配置し、相談業務を行った。また、ラジオを通してこれらの業務を紹介した。

配信した情報の内容は、「避難所への避難」、「地震の被害状況」、「原発事故」、「計画停電」、「電車・バスの運行状況」、「チェーンメール

への注意」、「放射能調査結果」、「入管業務」、「生活物資の購買に関するお願い」、「農産物の状況」、「被災者生活再建支援法」など様々。一方、相談では、最も多かった内容は「計画停電」で、続いて「放射能関連」、「災害ボランティア・募金・物資援助」、「家の損壊・断水」、「震災に伴う就労問題」、「入管関連」、「交通機関」、「避難所」、「ガソリンスタンドの場所」、「安否確認」などであった。

この他、TIAは、関東地域では最も被害が大きかった茨城県に設置された「災害多言語支援センター茨城」からの翻訳依頼にも対応した。

TIAは、3年前から災害時における外国人支援をテーマにセミナー等を開催し、コーディネーターやボランティアの育成を行っている。今回の震災では、翻訳や相談業務で、TIA災害時通訳ボランティアバンク登録者に活躍していただいた。今後も、災害時における外国人支援の連携を進めていきたい。



▲翻訳・相談スタッフと配信内容等について毎日ミーティングを行う(TIA 事務局)

避難所支援の実際～真岡市の対応



▲真岡市内で外国人支援を行った真岡市国際交流協会のみなさん(左から松本さん、小松さん、高橋さん)

真岡市では、震災当初より、真岡市国際交流協会が、被災した外国人のための支援を行った。真岡市内は、宇都宮市内より地震の揺れが大きく、家屋の損壊等がひどかったため、避難所に避難してくる人が多かったという。

真岡市内には、3か所の

避難所が設けられた。同市では、外国人も含め、市民に対し避難訓練を行っていたため、避難所を把握している外国人も多かった。市役所隣の避難所となった真岡市体育館ほか2か所に、協会職員が、毎日様子を見に行き、外国人からの震災の不安等の相談を受けていたのだそう。避難所は3月15日には外国人の利用がなくなり、23日に閉鎖となった。当初、外国人登録者数の多い、ブラジル人、ペルー人が避難してくるだろうと予想されていたが、実際には、フィリピン人が多く避難して来たという。南米の言語に、対応できる相談員はいるのだが、フィリピンのタガログ語に精通している人がいなくて、大変苦労したとのことだ。

一方で、今年1月に開催した「外国人サポートボランティアセミナー」に、参加した外国人が、避難所にポルトガル語、スペイン語等の張り紙を作成し、セミナーで学んだことを実践した。



▲真岡市では、今回の活動状況をパワーポイントで制作した

在日タイ人への支援活動～デックタイグループ



▲在日タイ人支援を行ったデックタイグループの代表ラタナポン・タナノンさん

県内に在住するタイ人支援を行っているデックタイグループでは、地震が起きた3月11日以降タイ大使館経由で入手したリストを元に、記載されている人の安否確認を行った。活動メンバーの多くは帰国してしまったため、日本に残っているメンバーが日本人ボランティアとともに、緊急物資の支援やタイ語による情報提供

・相談等、できる限りのタイ人支援を行った。情報に関しては、在日タイ人の多くの人が利用している「facebook」を活用。中でも日本人のボランティアによる支援がかなり助かったという。自宅の使用していない空き部屋を貸してくださったので、たくさんの支援物資をストックする場所として活用した。また、大使館から支給された懐中電灯、毛布、水等を入れた緊急の支援バックを準備し、避難しているタイ人に手渡した。多くのタイ人は避難所には行かず、車の中で避難している人が多かったので、支援物資の配給には大変苦労したという。現在どこに避難しているのかわからないタイ人のために、タイ料理店やタイ人が比較的行きそうな場所に緊急支援物資をまとめて届けたりもした。3月21日には、タイ人の医師、看護師からなる10名の医療団が宇都宮市で、内科、外科、精神科の一般診療も行った。ラタナポンさんが今回の震災を通して感じたのは、日本人の優しさ。日本にいるタイ人を支えてくれたのは日本人のボランティアの方々であり、日本人には感謝しているという。

TIAは平成23年4月1日に「公益財団法人栃木県国際交流協会」となりました。

TIAは、栃木県知事より公益財団法人の認定を受け、平成23年4月1日に「公益財団法人栃木県国際交流協会」に名称が変更されました。

今後、更に多文化共生社会の推進、国際理解、国際協力等に向け、力を尽くしていきたいと思っておりますので、皆さまのご支援、ご協力をお願いします。

平成23年度の主な事業

<情報収集提供事業>

- ・ 携帯メール多言語情報提供事業
- ・ ホームページ運営事業

<相談事業>

- ・ 相談事業
- ・ 通訳・翻訳協力事業

<人材育成事業>

- ・ 災害時通訳ボランティア養成セミナー



- ・ 医療通訳ボランティア養成セミナー
- ・ 日本語教室支援事業
- ・ 県民外国語講座
- ・ 相談員・通訳協力者実務研修会

<外国人支援事業>

- ・ 留学生支援事業
- ・ 地域在住外国人支援事業
- ・ 生活情報ガイドブック等作成事業

<国際交流推進事業>

- ・ 国際交流団体連携推進事業
- ・ とちぎインターナショナルフェスティバル 2011
- ・ 海外交流支援事業

<国際協力推進事業>

- ・ 海外技術研修員受入事業

<国際理解推進事業>

- ・ とちぎグローバルセミナー
- ・ 国際理解教育実践セミナー



国際交流団体紹介

心と心をつなぐもの —真の国際支援を目指して—

1998年の初夏、本県在住の貿易関係の仕事に携わっていた知人から「カンボジアでは、文房具が不足して大変困っている」という話を聴き、この話に乗った私たち有志(8名)は、

口コミで集めた文房具を各自のスーツケースにいっぱい詰め込んで、カンボジアまで持っていく、直接子



▲国際理解教室(異文化理解の学び)

供たちにプレゼントをいたしました。これが、私たち「カンボジアっこ支援の会」の最初のカンボジア訪問となりました。1999年1月のことです。

カンボジアっこ支援の会は、カンボジアの子供たちの教育支援をするとともに、内外の青少年の国際理解教育の推進を主な活動としています。

定期的に現地を訪問し、絵本や文房具を寄贈し、国立幼稚園教員養成学校で音楽・物作り・レクリエーションセミナーなどの指導を行っています。

「カンボジアっこ支援の会」

また、スラム街で行なわれている移動図書館活動に参加し、子供たちとの交流を持っています。今年2011年2月には第12次訪問をしました。



▲掲示物制作の様子



▲国立教員養成学校(ピアノセミナー)

各種イベントでパネル展示やカンボジア製品の販売などを行い、収益金を現地の学校やNGOに寄付しています。

現在、会員の大募集を行なっています。若き力は勿論の事、退職され時間と力にゆとりのある方、活動をご一緒しませんか。

文：カンボジアっこ支援の会 会長 工藤美智子

国内では、現地の様子を伝える写真パネルやビデオを制作し、県内の小中学校やコミュニティセンターなどでの国際理解教室に役立てています。



山口信子さん（中国ハルビン市出身・宇都宮市在住）2000年留学のため来日。その後、中国語教師の資格を持つ日本人のご主人と結婚。4才と3才の女の子のママであり、勉強、仕事、ボランティア活動にも熱心に取り組んでいる。

——山口さんに初めてお会いしたのは、昨年TIAが主催した医療通訳ボランティアセミナーでした。

はい、私は中国語の医療通訳を勉強するために参加しました。医療通訳に限らず、何か人の役に立ちたいという思いがあり受講したんです。もともと教育と心理に関心があり、その分野で自分にできることは何かないか・・・という思いで、県立高校の進路指導員として将来について生徒から相談を受けたり、別の高校では中国語を教えたこともあります。

——小さな娘さんが二人いるだけでも大変なのに、さまざまな活動を続ける一番の理由は何ですか？

以前、ある事件を起こして勾留された中国人女性の通訳をしたことがありました。彼女は精神的にうつ状態に陥っていましたが、その原因は寂しさでした。私自身、中国と日本の文化の違いに戸惑い、寂しい思いもたくさん経験してきました。何とか彼女のような外国人を救うことができないかと思い、以前より関心のあつ

た心理学を学び始めました。

——外国人はどんなところで寂しさを感じるのでしょうか。

やはり、文化のギャップです。中国の場合、妻が風邪をひいたとしたら、夫は食事を作ってあげたり、大丈夫かと何回も聞いたるさくらいです。そういう文化で育った人が、日本に来ると、日本人の距離の取りかたに悩みます。日本人は気を遣ってそっとしておいてくれているのに、強く寂しさを感じ、自分は一人ぼっちだと思い込んでしまうのではないのでしょうか。

——なるほど。そういう場合どうすればいいとお考えですか？

自分の居場所を見つけることが大切だと思います。気軽に話ができたり、ありのままの自分を受け止めてくれるところが必要です。そのためには外国人が楽しく行ける日本語教室は、とてもいい場所だ

と思います。そこで、私はこの春から日本語の教え方の勉強も始めました！日本語を教えたり、話を聞いてあげて、うつなどの心の病を防止したいと思っています。今、つらいと思っている外国人も、楽しい場所を見つけて心を開けば、日本の文化を受け入れられるようになると思うんです。



▲国際結婚をしたカップルとも交流している。

JICA 情報局

青年海外協力隊平成22年度4次隊 【いざ任国へ！】

青年海外協力隊平成22年度4次隊2名（栃木県出身）が、3月、インドネシアとグアテマラに向けて出発しました。お二人の明るい笑顔と元気な声は、周囲の人々に勇気を与えてくれるでしょう。

～青年海外協力隊2名の方の活動内容&抱負～



杉本健さん

（インドネシア/料理/栃木市出身）

【活動内容】インドネシア、スラウェシカ島マカッサルにある、マカッサル観光専門学校にて日本料理を教える。

【抱負】料理を通じて人と人をつなげ元気にしてきます。日本とインドネシアをつなげるかけ橋になればいいと思います。



八下田隋恵さん

（グアテマラ/感染症対策/佐野市出身）

【活動内容】キチムラ県保健センターでシャーガス病の教育や啓発活動を行います。

【抱負】人とのふれあい出合いを大切に、地域の向上と自分自身を成長させる為に、感謝の気持ちを忘れずに2年間活動してきたいと思っています。

JICA ボランティア春募集【募集期間：6月13日まで】

『世界も、自分も、変えるシゴト。』

【問合せ】JICA 栃木デスク（TIA 内） 028-621-0777

賛助会員募集!!

TIA では、賛助会員を募集しています。

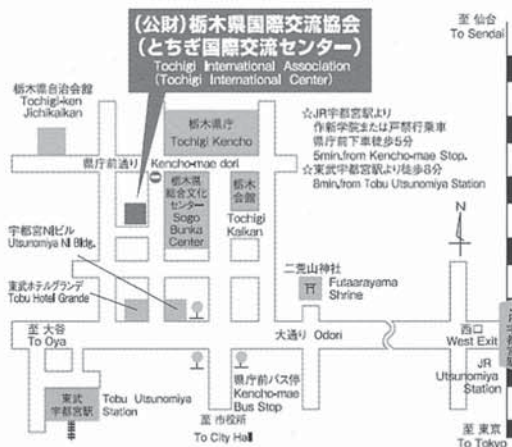
皆さまからの賛助会費は、TIA のさまざまな事業に使わせていただき、地域の国際化に役立てていただいています。ぜひ TIA の賛助会員の入会のご検討をお願いします。

TIA バナー広告募集中!

バナー広告を掲載してみませんか？詳しくは下記をクリック！

<http://tia21.or.jp/banner.html>

TIA ご案内図



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会
住 所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
T E L 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
F A X 028-621-0951
業 務 時 間 8:30～17:15
休 館 日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日